

2008～2009 東日本区

地域奉仕事業計画

地域奉仕事業主任 山田 敏明（十勝）

テーマ 「愛する地球の下、自分で出来る地域奉仕を考えよう」

今年7月、私たち2008～2009年度のワイズメンズが始動すると同時に、北海道洞爺湖サミットが開催されます。サミットのテーマは、「気候変動問題」で、地球温暖化にいかに関わり込むかということです。

地域奉仕事業のテリトリーは、YMCA サービス、CS、ASF ですが、是非今まで各クラブで取り組んできた地域奉仕事業に加えて、環境問題にも着目したいと思います。身近に出来るところから、地球に優しい活動に関わっていきましょう。

I. YMCA サービス事業(強調月間 7月)

ワイズメンズクラブは、YMCA を通して、地域社会に奉仕するサービスクラブです。つまり、YMCA への奉仕、支援はワイズメンズクラブの最も重要な目的です。

YMCA とワイズメンズクラブの相互理解を深め、情報を共有する。(特に、YMCA 主事との連携を密接にしましょう)

クラブの会員は、YMCA の会員になる。「東日本区定款第3条第3項の確認」

YMCA のスタッフに、ワイズメンズクラブをアピールする。

YMCA のプログラムを積極的にサポートする。

東日本区大会(十勝大会2009.6.13～14)に担当主事の参加をサポートする。担当主事会を開催する。

II. CS (Community Service) 事業(強調月間 8月)

YMCA と協力して、クラブの地域社会の求めに応える奉仕の実践に心がけましょう。

1クラブ1事業の推進。(地域へのアピール、他クラブへの参加・協力、他クラブとの協働)

新しいCSプログラムの開発を計ろう。

CS資金一人当たり 1,250円の全クラブ達成に努める。✕切; 3月15日

(一人当たり 1,250円の上乗せとして送られてきたお年玉切手は、ポイントとして加算します。

また、お年玉切手収集の個人表彰は、各クラブからの申告に基づき対象者を選考し、表彰します)

III. ASF (Alexander Scholarship Fund) 事業(強調月間 7月)

YMCA スタッフを育てるための支援。特に地方YMCAのスタッフの育成支援プログラムを、東西日本区で協同して検討する。(YMCA 同盟ステップ 研修)

自由献金の奨励強化。全クラブからの献金を目標。✕切; 5月15日

IV. 環境問題への取り組み

新しいプログラムです。地球温暖化は、全人類の共通の深刻な問題になっています。

今年度は、各クラブから、沢山のご意見を頂き、2010年横浜国際大会へ向け、ワイズメンとして、取り組んでいかなければなりません。

準備段階からの啓蒙活動と生活スタイルの変革を行い、ワイズメンが共に考え、行動を起こさなければなりません。YMCA とのパートナーシップで、日々実践できる温暖化防止の生活スタイルを実践してゆくことが、大きな効果を地球に与えることが出来るとの思いを持ちましょう。これが、地域に対してのワイズメンズクラブのアピールになると同時に、「東日本区2,000名達成のための行動計画の推進」に寄与します。

東日本区地域奉仕委員会内に、環境を考える会(仮称)の小委員会を設置します。

YMCA との、共同開発プログラムに取り組みます。

東日本区表彰対象に、環境問題の取り組みを導入します。

年度当初に、各クラブの取り組み易いシステムを提案します。

V. 東日本区2000プロジェクト推進の為、個別YMCAと連携を計り、行動し、会員増強に邁進しよう